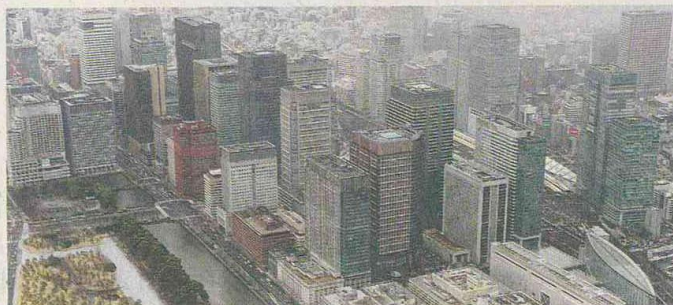


アジア都市の将来性

東京2位

英FT調査



前回の9位から浮上(東京・丸の内)

金融拠点構想を評価

FT都市ランク

①シンガポール	(2)
②東京	(9)
③台北	(6)
④ソウル	(5)
⑤香港	(1)
⑥クアラルンプール	(7)
⑦北京	(3)
⑧上海	(4)
⑨大阪	(一)
⑩シドニー	(一)

(注)2015/16年版。カッコ内は前回順位、は10位圏外

英フィナンシャル・タイムズ(FT)グループがまとめたアジア太平洋地域の都市の将来性に関する2015/16年版ランキングで、東京が2位に入った。前回2年前の調査では9位。2014

年に打ち出した「国際金融センター構想」や国家戦略特区などの取り組みが評価された。

調査はFTグループの調査部門fDiインテリジェンスが隔年で実施。国内総生産(GDP)や直接投資件数などの「経済成長性」、インターネットの通信速度や道路・鉄道の質などの「インフ

ラ」といった6分野を総合的に評価した。5回目の今回はアジア太平洋の163都市が対象で、1位がシンガポール、3位が台北。日本では他に大阪が9位だった。東京が順位を上げたのは投資を呼び込む「対内投資戦略」が改善したため。この分野では前回までトップテン圏外だったが今回は3位。舛添要一知事はニューヨークなどに匹敵する金融拠点の形成を目指す構想を提唱。14年末にまとめた都の長期ビジョンに国際ビジネス拠点の形成などを明記したことが評価された。